



福岡女学院大学  
FUKUOKA JO GAKUIN UNIVERSITY



# 変わり続ける文化に触れて 気づきと問題解決する力を 身につける

「文化」と言われて何をイメージしますか？

きっと一人ひとり色々なことを頭に浮かべるとおもいます。

当たり前のようにある文化を知ることで

多様な私たちの暮らしの中だからこそ起る問題に

気づき解決できるということを学ぶのが

私たち現代文化学科です。

03 現代文化学科とは？

05 学びの分野

07 観光文化分野

09 交流文化分野

11 日本文化分野

13 教員紹介

15 教員コラム

19 先輩に聞いてみた

21 学科のあゆみ





What is Department of Contemporary Culture?

## 現代文化学科とは？



時代によって変わり続けてきた文化にスポット当てて、私たちの暮らしがどのように成り立っているのかを、改めて考えてみましょう。私たちは、当たり前だと思っていた社会の様々な

課題に「文化」という側面から気づき、解決する方法を学びます。そしてここで身につけたことを活かし、より自分らしく暮らしていける社会へ一人ひとりが旅立っていけるよう、4年間を過ごします。

How do you learn?

## どのように学ぶのか？

続きはp7~12へ



様々なものの見方を知るきっかけとなる講義科目、実際に国内外の文化の様子に触れたり話を聞いて問題や解決策を探るフィールドワーク、航空産業の現場を体験するエアライン研修、一流ホテルでホスピタリ

ティを学ぶホテル研修など、様々な研修プログラムがあります。さらにゼミ活動では、集大成として卒業論文の執筆、観光パンフレットや写真展の企画、企業連携プロジェクト、学外コンテストなど、多岐に渡ります。

What do you learn?

## 何を学ぶのか？

続きはp5へ



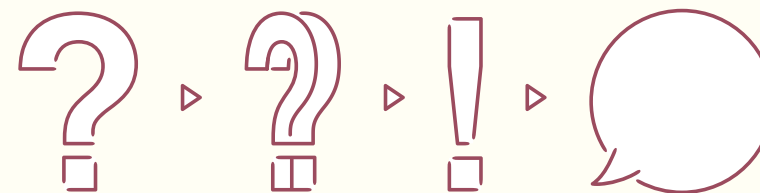
この学科には観光・交流・日本の3つの分野があり、相互的・多角的に学習することで「文化」の側面から課題を解決する方法を考察します。交流文化や日本文化に触れることで観光文化

をより深く理解するなど、今までとは異なる視点から考えてみると新たな気づきが見つかります。そして広がる知識を持ってさらなる課題へと挑戦していきます。

What happens when you learn?

## 学ぶことでどうなるのか？

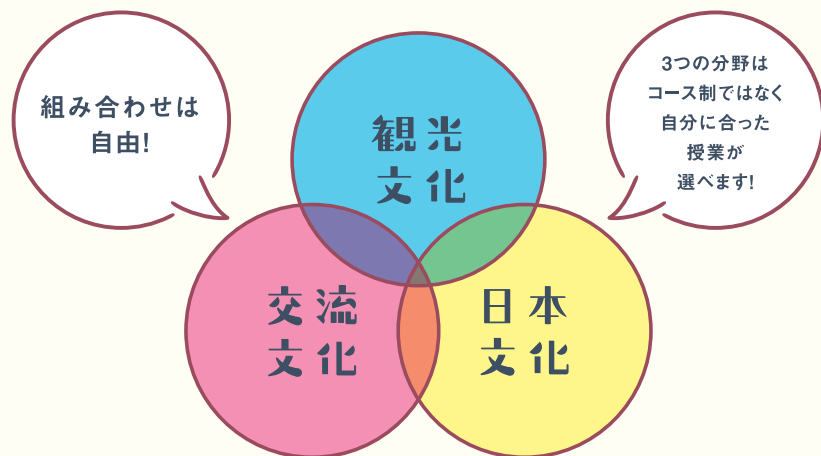
続きはp19へ



私たちが普段生活をする中で「当たり前」になっているものに疑問を持ち、そのことについて事実を知り、そこから自分自身で「考える」という工程の中で、自分にできることはないのかと「気づく力」を

身につけることができます。この力は業界・業種を問わず、「誰かのために」できることを考えて行動できる強みとなり、現代文化学科から羽ばたいた先輩たちが様々な業種で活躍しています。

## 学びの3つの分野について



目まぐるしく変化する現代に日々起こる問題を、「観光・交流・日本」の3つの分野から学ぶことで考察の選択肢を増やし、新たな視点から解決方法を見つけしていきます。当たり前を疑うことは、自分自身を見つめ

直し整理することにも繋がります。そのためには過去・現在・未来で何があるのかに気がつく必要がありますが、学びを通して身につけたことは、卒業後に社会から求められる「伝える力」にも役に立ちます。

## 交流文化分野

続きはp9へ

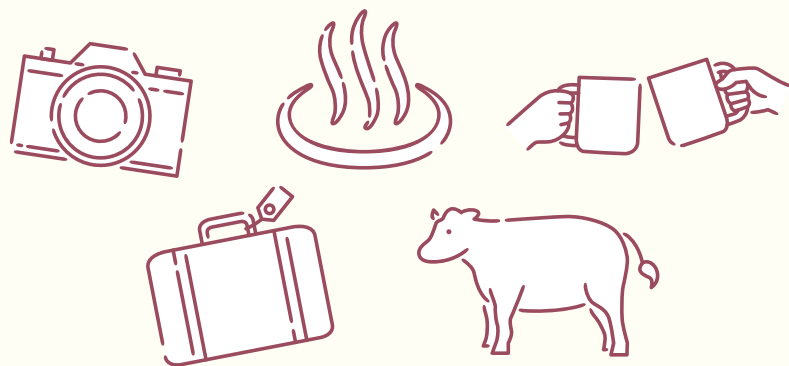


欧米文化だけでなくアジア文化との交流を通して「他者への理解」を深め、「自己の気づき」にも繋がることを学びます。「異なる文化的背景を持つ国を訪れ、コミュニケーションをとること」で相手をより深く理

解することができます。誰かに何かを伝えようとする際には、相手のことを理解して話す順番や内容を考えると効果的ですが、この分野ではそれらの考え方を「交流文化」の視点から身につけていきます。

## 観光文化分野

続きはp7へ

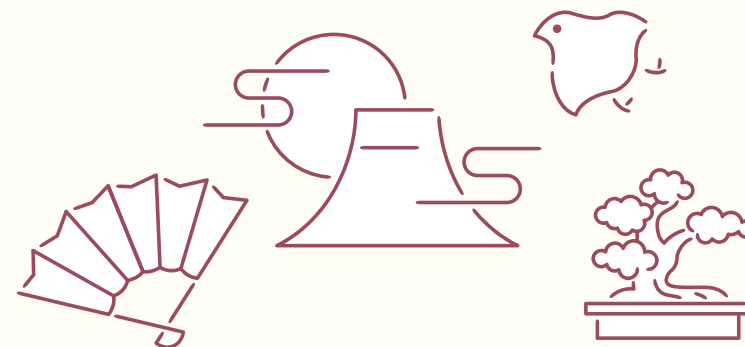


観光とは、その土地を訪れるだけが魅力ではありません。訪れる人・観光に携わる人・観光地に住んでいる人など観光は様々な人が関わり、その交流によって成り立っています。また自分自身が観光客

にも、観光客を受け入れる側にもなるため、観光を色々な立場から考えることは、様々な問題に気が付くきっかけにも、またそこから自分にできることは何かを考えられるきっかけにもなるはずです。

## 日本文化分野

続きはp11へ

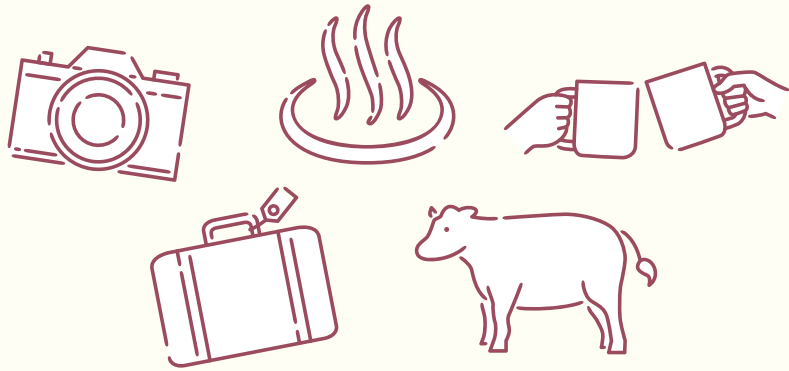


日本文化は、文字で残されるようになってからでも、1,000年以上の歴史があります。どのようなことばを使って自分自身を表現し、相手とコミュニケーションをとるのか、日本語学を通じて分析する力とこと

ばの使い分けを身に付けます。正解は一つではなく、人の数だけ答えがあります。また、国語教員となって、未来の子どもたちに文化を伝える術も学ぶことができます。



# 観光文化分野



「観光」とはその土地を訪れる人のためだけの言葉ではありません。  
そこで働き、暮らす人も「観光」に関わって生きています。  
関わる人すべてが、より良く暮らしていけるように  
観光文化という目線で、社会のあるべき姿を学びます。

## —どんなことを学ぶの?—



観光を通して  
社会の動きを考えてみよう。

皆さんは「観光」と聞いてどんなイメージをしますか?例えば素敵な風景や美味しい食事、旅先での出会いなどでしょうか。このような魅力を観光客に届けるためには、どんなことが必要なのか考えてみましょう。歴史的な背景などを理解したり、時代の変化に合わせて旅の楽しみ方を考えたり、SNSにアップしたくなるようなスポットを考えたり……。でも何より一番大事なのが「共感」してもらうことです。そして「共感」してもらうためには、一方的ではなく様々な立場から社会の動きを考えなければいけません。



共感を理解するワークショップの一コマ。  
雑誌を購入して、好きなページについて言語化します。

## —どんなことに役立つの?—



伝えるために多角的に物事を見ることで様々な問題に気が付ける。

観光地には、「訪れる・働く・暮らす」など様々な人が関わっています。それぞれの立場からその土地を見つめてみると色々な問題が見えてきます。皆さんは、「旅を楽しむ」目線には慣れているかと思いますが、「働く人や暮らす人たち側」の目線に立つことで「今までの当たり前」を疑い、問題を解決するための選択肢を増やして、一方的ではなく多角的に考える力を身に付けてもらいます。考え方の引き出しを増やすことで、どのような業界でも自分らしく働くことができる人材になってほしいです。



旅先の魅力を最大限に伝えるために写真展の開催も。  
会場選びや展示方法も自分たちで企画します。

## —先輩からのオススメ—



現地に行くからこそ見つけられた  
魅力を伝える為に。/山下 綾望さん(池田ゼミ4年)

観光文化分野のオススメポイントは、現地での体験を通して楽しみながら多くの学びを得られる点です。観光パンフレット作成のための夏季研修では、実際に訪れなければ知ることができなかった魅力にたくさん出会うことができました。今までは当たり前のように旅行をしてきましたが、観光地の皆さんがどのような思いで迎えてくださっているのか、少しでも知ることができて、私自身も成長できたと思います。この経験を通して得た多角的な視点と伝える力は、就活や今後の社会人生活でも活かしていきたいです。



何気なく写真を撮るのではなく、何を伝えたいのかを  
考えながら「写ルンです」で旅先の魅力を切り取りました。

# 交流文化分野



多様な価値観を持つ人々が集まる現代社会。  
それぞれの考え方やその背景を知り、相手の文化を理解するとともに、  
自国の文化を理解してもらう力を養い、  
異なる文化間の橋渡しができる人材を育てます。

## —どんなことを学ぶの?—



異なる世界のあたり前を楽しみ  
自分自身の理解を深くなる。

私たちは「あたり前」のガラスの壁に囲まれて日常の生活を送っています。そのため日本の文化や言葉の中にひそむ特異性に気づけないことや、他の地域での「あたり前」が新たな気づきとして見えてくることがあります。交流文化分野の学びでは、気がついていなかったことに目を向けることがスタートとなります。ヨーロッパやアジアやアメリカなど異なる地域で育まれてきた文化や価値観の違いを意識することで、日常の「あたり前」から少し超えていけるきっかけを見つけていきます。



アメリカでのFW  
ボストンから乗車した電車の中にて

## —どんなことに役立つの?—



選択肢が増えることで  
自身の世界がもっと広がる。

例えばスープは「飲み物」でしょうか、それとも「食べ物」? スープは「飲む」のが当たり前と感じる人もいるかと思います。でも英語圏の人の場合、「食べる(eat)」と感じる人が多いのです。何気なく使っている言葉を異なる言語文化の文脈で考えると、今まで意識していなかった「ものの見方」に気がつきます。文学や芸術、食文化など人々が作りあげてきた無数の文化的産物を今までとは違った角度で楽しむことができるようになります。選択肢を増やすということは、就職活動や社会へ出てからも役に立つと思います。



フランスでのFW  
ヴェルサイユ宮殿の豪華な階段に興味を持つ学生

## —先輩からのオススメ—



日本と外国の文化を比べることで  
あたり前を見つめ直す。／伊藤 桃香さん(能勢ゼミ4年)

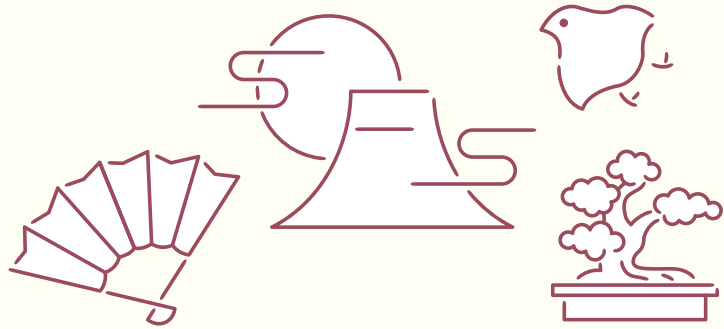
私がおすすめるのは比較文化の授業です。異文化を食やマナー、言葉など様々な観点から学ぶことができ、異文化について深く知ることができます。言葉について、例えばりんごの色と言えば何色かと言う問いに対して、日本人と英語圏、フランス語圏の人では答えが違い、それに伴い比喻表現も異なるなど、言葉が変わることで、物事の捉え方も異なります。日本ではあたり前であることが外国では非常識であることもあり、そういったことを学べるのがとても興味深く、自分の先入観や固定概念が覆されます。



太陽王(Le Roi Soleil)  
ルイ14世の騎馬像の前にて



# 日本文化分野



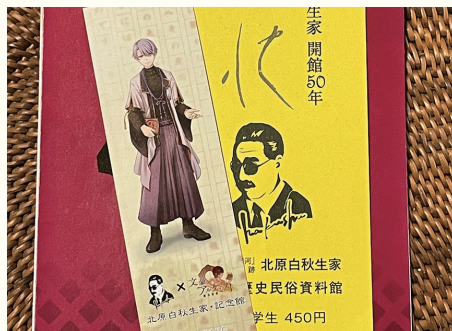
文学、言語、思想、歴史、アニメ、昔話、華道など、  
多様な視点から日本文化の「昔」と「今」を探求します。  
現代と過去や日本と海外が文化的なつながりを持つことを学び、  
日本文化の奥深さを自分の言葉で発信できる力を育みます。

## 「どんなことを学ぶの？」



自分のことばで表現する方法を知ること  
自分らしさを再発見します。

日本文化とはどのようなものなのか、自分たちの感覚で、いま生きているもの、いま流行っているものを例にして紹介できるようになります。どのようなことばを使って自分自身を表現し、相手とコミュニケーションをとるのか。解説書で暗記したようなことばや表現ではなく、自分のことばで、感性や感覚、知識を表現する方法を学ぶことができます。また、自分の文化から他の地域を新たな視点で見ることができるよう、そして物の捉えかたそのものについて考えることができるように、過去から現在につながる日本文化のありようや方言についても学びます。



柳川へのFWで、北原白秋文学館を見学しました。  
「文豪スライドックス」とコラボしていました。

## 「どんなことに役立つの？」



自分らしく社会で生きること  
すこし豊かな人生に。

私達は「どう生きるか」を問われています。たったひとつの正しい解を探すのではなく、すべてのひとの考えを認められる答えを探して、進まなければならないときもあります。そのようななかで、文学作品に触れ、ことばについて学び、またそれを通してひとと交流する経験は、社会で方向性を定めようと考え、決断しようとするときに役に立ちます。また、学んでいくことで、これまで見ていた世界が違って見えてきます。日本文化を、言葉を、文学を、身をもって理解すると、いつもの自分がすこし豊かになります。それはもちろん、教員になるうえでも大切なことです。



教育実習での一コマです。事前にたくさんの準備をして、本番にのぞみました。

## 「先輩からのオススメ」



仲間と一緒に感性を磨き  
自分らしくことばを紡ぐ／田志 歩未さん(大國ゼミ4年)

大國ゼミでは、季節に合わせた短歌や題詠歌を詠んだり、お気に入りの写真や思い出の写真、決められたお題に沿った写真を共有し、文章にする活動を行っています。文章のプロである大國先生、そしてゼミ生と意見交換をすることで、自分自身の五感や感性を磨き、新たな答えを探し出すことが出来ます。また昨年はコロナ禍も落ち着き、フィールドワークで大宰府を観光したり、柳川で川下りしたりと、古き良き日本文化に触れ、ゼミ生皆も仲良になれるようなイベントも行っています。



柳川の川下りでは船頭さんが歌う白秋の「かんぴょう」を聴くことができ、水郷のまちを堪能できました。



## 教員紹介

現代文化学科では日々、さまざまな「文化」を研究しています。ここでは各教員について説明します。



池田 拓朗 講師

観光文化

### ニューロカリズム

「地域に訪れ、自分たちらしく魅力を見つけ、共感してもらうには」をテーマに活動しています。ネットや雑誌で分かる「情報」ではなく、「私を感じた情景」を伝えるためには、何より楽しむことが大事です。皆で観光地のファンを増やす方法を考えましょう!



金沢 英樹 教授

観光文化 キャリア形成

### 社会の疑似体験

企業等との協働プロジェクトを通じて将来を自らの力で切り拓ける人物育成を目指します。商品開発や社会貢献等、多彩な活動を行っておりゼミの時間外での作業も発生しますが、社会から必要とされる基礎的な能力を身につけられる実践的なゼミです。



佐島 顕子 教授

交流文化 日本文化

### 文化交流と歴史

K-POPやおしゃれなカフェ文化、ホットックのようなおいしいストリートフード。次々に新作がデビューする韓国の現代文化は目を離せません。海外の若い世代の発信をキャッチする感度を高めると自分の国の文化や歴史もはっきりし、物事を立体的に見られます。



糸 隆太 准教授

交流文化

### ヨーロッパ文化

「イタリア料理やフランス料理が好き」「ゴッホの絵が好き」「ヨーロッパの街並みが好き」そんな方はいませんか?私のゼミでは、これらの「好き」を食・美術・建築などの「学び」に繋げながらヨーロッパ文化について考えています。



浮田 英彦 教授

キャリア形成

### キャリアデザイン

同じ職場の人たちでも、働く理由はそれぞれです。では、自分らしく働いて?将来を想像して実現するために、価値観や自分の強み、目標達成に必要なスキルを見つけて、学ぶことが「キャリアデザイン」です。一人で抱えず対話をしながら将来を考えていきましょう。



相良 誠司 教授

日本文化 教職課程

### 中学校・高等学校の教職課程

「教育の基礎的理解に関する科目等」の講義に加え、学校現場との交流にも取り組んでいます。国語科教諭免許取得をめざす学生の皆さん、ぜひチャレンジしてみてください。1年の1月に教職課程履修希望を受け付けています。



高戸 聰 教授

交流文化 日本文化 教職課程

### 怪談と妖怪

日本の怪談や昔話には、中国の古典に由来する話があります。また、そこに登場する妖怪にも、中国出身のものがいます。怪談や妖怪を通して、日本と中国の文化を比べてみてはどうでしょうか。



大國 眞希 教授

日本文化 教職課程

### Empathy

ひとつのことについて正解を導き出すのではなく、自分の考えや感性をひろげ、豊かにすることを大事にします。また、連歌を指す「場の文学」と呼ばれるような、相手の心情を思いやり、付け合いをしていく面白さを体験することも目指します。



門屋 飛央 准教授

日本文化

### 方言

学生同士でお互いの方言調査をしたり、街のなかの「気になることば」の考察をしたりします。実際に現地へ方言調査に行くこともあります。方言には方言の文法体系があり、共通語と同じ体系ではありません。方言を通して、ことばの仕組みを考えます。



能勢 卓 教授

交流文化

### アメリカの言葉と文化と物語

アメリカの文学・演劇・映画作品の中に織り込まれている言語文化的側面を見ると、日本とは異なる「ものの見方」だけではなく、日本の「あたり前」に潜在する異質性にも気がつくことがあります。アメリカの作品を通して、今までと違う見方、世界観に触れてみましょう。



渡邊 寛吾 准教授

日本文化 教職課程

### 萬葉集の恋歌から見る奈良時代の恋愛

萬葉集の歌の中から恋歌に焦点を当てて、およそ1,300年前の人々の恋愛での心の動きを読み解いて行きます。また、和歌は「国語(古典)」で重要な教材でもあり、国語教員を目指す人には和歌に慣れ、知識を深めることも目的とします。





## 自分たちらしい旅の楽しみ方とは？

池田 拓朗 講師 観光文化



私はできるだけ「非日常」を楽しみたいと思いつつ旅先を決めることにしています。特にこだわりたいのはやっぱり「食事」です。流行りのお店に行くのも楽しいですが、地元の人に長く愛されているお店で郷土料理を食べるのが大好きなんです。だからある程度は旅前に調べますが、旅先で地元の人にお店を教えてもらうのをオススメします。今までの経験上、満足できるお店ばかりでした。美味しいし、お店の人もお客さんもみんな温かい。たまに一品サービスしてくれたりも笑。まさに一期一会を体験できるので是非試してください。

現在観光地では、いかにファンを作るかが課題と

なっています。以前、平戸観光協会に所属していた際にパンフレットを配っていましたが、地元の人しか知らないような内容を手書きにして渡していました。メールで済むことかもしれませんが、とても喜ばれてわざわざお礼に来られるお客様もいたのです。ルールは沢山ありますが、重要なのは“共感”してもらえるかです。それは“相手のことを想って自分らしく伝える”とも言えます。一見難しく感じますが、例えば普段歩く道から少し外れた道を行って感じたことを色々な人に話してみてください。共感されたら、それが地域のファンづくりに向けたはじめての一步になるはず。



地元の方オススメのトルコライスは絶品でした！



予定を決めずに歩けば、目の前に素敵な景色が！



元々は潜伏キリシタンなど「世界遺産と観光」を研究



旅先の情景を伝えるために、ゼミで写真展を開催



## 試してみると見えるもの

佐島 顕子 教授 交流文化 日本文化



京都や太宰府に行くで「着物レンタル」を楽しむように、韓国の観光地でも伝統衣装をレンタルできます。韓国の衣装はよくチマチョゴリといわれますが、「韓服(はんぼつ)」が正式な名前です。古い街並みや史跡を背景に昔のお嬢様の姿で写真を撮ると、タイムスリップしたみたい。最近のレンタル衣装は伝統的なスタイルをアレンジしたもので、リボンやシルエットがドレスに近く、プリンセス気分が盛り上がります。伝統を守りつつも変わるところは変わる、それが文化です。「ローマに行ったらローマ人のするようにしなさい」ということわざを聞いたことがあるでしょうか。

「郷に入れば郷に従え——地元のルールを守れ」とは意味が少し違います。「せっかくローマまで行ったのだから、ローマ人になったつもりで行動してみると新しい発見ができるよ」という意味です。文化を感じられるアイテムを身につけると、見える世界の解像度が上がります。みなさんも是非、いろいろなことに挑戦して世界を広げてみてください。



FW韓国・王宮扉の前でお姫さま気分



韓国KBS子ども番組スタジオ見学



FW韓国・チーズタッカルビを混ぜてもらいます



FW韓国・世界遺産水原で記念写真





## こん子が方言ば聞こうごちゃーっち

門屋 飛央 准教授 日本文化



僕は大学4年生のとき、とにかく五島の宇久島(うくじま)方言で卒業論文を書くこと決めて、方言調査に行きました。そして、1週間くらい島内を散歩しながら、出会った話者に方言の単語を聞いていました。そうやって話を聞いているうちに、話者が文の最後で頻りに使う「ゴチャー」が気になりました。例えば、「雨が降るゴチャー(雨が降るようだ、様態)」とか「どしてん酒ば飲もうゴチャー(どうしても酒を飲みたい、希望)」といったものです。僕は福岡方言話者なので、この「ゴチャー」が福岡の方言にある「ゴタル」と似た単語だと、想像はつきました。しかし、福岡の「ゴタ

ル」とどこが使われ方が違います。こうして宇久島方言の「ゴチャー」が、僕の卒業論文のテーマになりました。この「ゴチャー」の考察は大学院に進学してもさらに続き、宇久島は今も僕のフィールドです。

ことばは体系を作っています。元々の体系に新しい単語が入ってくると、新しい張り合い関係ができます。クラスに転校生がやってくると、クラスの雰囲気が変わるイメージでしょうか。体系のなかで、各々が担う意味が変わってきます。由来は同じ単語でも、方言が変われば同じ意味とは限りません。



フェリーから見た宇久島



宇久島の砂浜と青空



平家盛が上陸したとされる火焚崎の船隠し



ゼミで大分県の天瀬方言を調査しました



## 仕事の失敗が糧になる

浮田 英彦 教授 キャリア形成



遠い昔の話。私が会社に勤務していた時、新規事業が立ち上がり得意先へ挨拶に。向かった先は日本で屈指のアパレル会社。通された部屋は役員室で、通常は応接室なのに、歓迎されていると勝手に思いこむ。しかしなぜかお茶がでない。そのまま15分位待っていると役員と二人がノックも無しに。次の瞬間、耳にした言葉は表現できない程怒りにみちていた。その時顧客リストの情報を見落としていたことに気づく。わが社が起こした航空機事故で社員が亡くなったことを。翌日から信頼回復の訪問が永遠に続いた。全てに3回見直す習慣は抜けない。



営業本部から企画室で宣伝、広報を担当



## 未来の自分のために、頑張ろう!

金沢 英樹 教授 観光文化 キャリア形成



企業のマネジメントとキャリア教育が専門です。私のゼミでは、社会との協働プロジェクトの一環として、子ども食堂のお手伝いに取り組んでいます。子どもたちの為に何ができるのかを考えこの場に立つと、気付けば子どもたちからとても大切なことを教えてもらえる、貴重な経験だと思います。ゼミ生にとっては、何かと大変なこともあります。素敵な方々と出会い、社会で活躍できる実力を磨いています。みんな頑張り屋さんたちです。実社会は厳しい。だからこそ、当ゼミの先輩が「未来の自分のために頑張れるのは、今の自分しかない」という言葉を残しています。なるほど、その通りですね。学生の皆さんには、自分の力で幸せをつかんでほしいです。



子ども食堂のお手伝い



教えて

先輩!

## 現代文化学科 について 聞いてみた!

4年間の学びの中で  
身につけたことについて  
働き始めて役立ったことや、  
就活に役立ったことを  
聞いてみました。



### 株式会社メモリード

高山 詩織さん 観光文化

現代文化学科での学習やゼミでの活動を通して、物事を多角的に考察する力がついたと感じています。実際に仕事で様々なお客様とお打ち合わせをしていますが、要望に対していくつかの提案をすることによって、より満足していただけたと実感できた時、大学時代の経験が役立っているなと思いました。



### 株式会社JALスカイ九州

松岡 未紗さん 観光文化

現代文化学科では、観光に関する授業はもちろん、様々な分野の授業が開講されており、将来の視野を大きく広げてくれました。資格取得の講座もあり、コロナ禍ではありましたが、4年間を通して興味関心の心が満たされました。好きなことを追求しているうちに、具体的に就活の軸も自然と見えてきました。



### 日本赤十字社福岡県支部

藤崎 愛美さん 観光文化

ゼミの活動を通して、将来したいことを言語化出来るようになったことです。漠然と観光系に進むだろうと感じていましたが、地域の方との触れ合うことで、近くで関わって悩みを解決したり、より良い生活の手助けをしたいと思うようになりました。沢山の出会いのおかげで、就職に対しても視野も広がりました。



### 楽天銀行株式会社

合屋 美乃里さん 交流文化

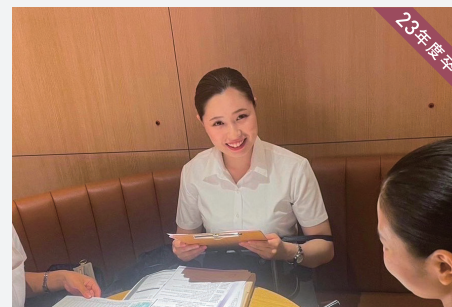
ネット銀行なので、外国籍の方も含め日々多くのお客様と関わる機会があります。実際に融資を行う中で、様々な生活パターン・価値観に触れますが、大学で学んだ多様性への理解や共感力で、よりお客様に寄り添った丁寧な接客を心がけています。また、まとまった休みが取りやすい環境なので、国内外の旅行にもよく出かけています。



### 医療法人 健眼会 やわたアイクリニック

石井 琴音さん 日本文化

ホテル研修を受講して学んだ接客マナーや言葉遣いが今の自分に生きていていると思います。心配や不安を持って来院される患者様の気持ちに寄り添って不安を和らげられるような対応を心掛けており同僚にも受付対応や言葉遣いを褒められるので現代文化学科で学んだことを医療の現場でも活かしたいと思っています。



### 株式会社ジェイエア

市来 香乃さん 交流文化

他者が持つ文化的背景を理解し、人との繋がりを作りだしていく姿勢を学びました。私が受験した航空業界は、様々な国籍の方の仕草やサインの意味、食文化など、人と人の価値観の相違を理解することが大切です。この学科で多様な価値観が集まる現代社会を学んだからこそ、自分自身の文化に対する理解を面接ではアプローチできました。

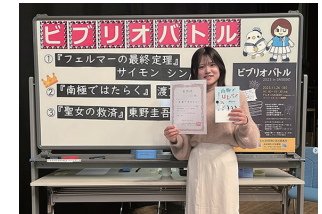


### 福岡県教育委員会

野中 沙夕紀さん 日本文化

教職課程を専攻し、教員になるための勉強に力を入れてきました。座学だけではなく、模擬授業の機会や実際の教育現場に足を運んで学ぶ機会が多く設けられており、それらに積極的に取り組むことで、人前で話す力や授業力などの実践的な力を高めていくことができたのは、自分の大きな財産です!

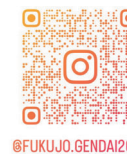
- 2001 ● 「現代文化学科」誕生  
海外研修スタート
- 2002 ● エアライン研修スタート
- 2006 ● 現代文化学科オリジナルの観光業界インターンシップ開始  
学科サークル観光研究会が旅行プランの大会で最優秀賞・ベストプレゼンター賞受賞  
現代文化学科の学生が指宿・屋久島の観光パンフレットを翻訳  
また九州各地の地方自治体と共同で地域活性化プロジェクトを推進
- 2007 ● 現代文化学科HP「学科Today」開始
- 2010 ● 岡垣町との連携授業がトヨタ財団の助成を受ける
- 2011 ● 学生たちが作った岡垣町観光マップが文部科学大臣賞受賞
- 2012 ● 浮田ゼミが社会人基礎力グランプリで大賞（経済産業大臣賞）受賞
- 2013 ● 浮田ゼミが全国優勝への過程を本として出版  
釜山・福岡大学生広報大使に佐島ゼミ学生2人が任命され、日韓旅行商品を開発
- 2016 ● 佐島ゼミが第大学講演会を企画運営する  
ANAエアラインスクールとの教育連携開始
- 2019 ● 各地武将隊の歴史的人物本人が語る「日本史」公開講義も15回目
- 2020 ● 池田ゼミが女子大生目線で地域の魅力を発信する観光パンフレット作成を開始
- 2022 ● 学生広報チーム結成  
現代文化学科Instagram開設  
金沢ゼミ学生が東京パラリンピック金メダリスト 道下美里選手・河口恵選手を  
お招きして「租税教室・トークショー」を企画運営
- 2023 ● 池田ゼミが写真展を開催／クラウドファンディングに挑戦  
金沢ゼミが「くらしをささえる税金」の音声版教材を作成



現代文化学科HP  
「学科Today」



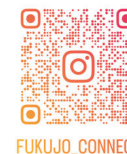
現代文化学科  
Facebook



現代文化学科  
Instagram



池田ゼミ  
Instagram



金沢ゼミ  
Instagram

@FUKUJO.GENDAI2001

@IKEDASEMINAR.FUKUJO

FUKUJO\_CONNECT